



研究キーワード: 自動運転, 交通事故回避, かがわ流モビリティ, EV,
バーチャルリアリティー, 認知症, 音楽療法, 快適空間創造,
香川のお香

最近の研究課題

1. 自動運転システムの最適制御に関する研究

バーチャルリアリティーを駆使した, ドライビングシミュレータを独自に開発し, ドライバの信頼感(Trust)が高く, 過度な依存を招かない, ユーザフレンドリーなシステム開発を, 自動車メーカーとの共同研究の一環として実施しています。



運転シミュレータ

2. 衝突防止支援システムの効果分析に関する研究

立体視技術を駆使した, ドライビングシミュレータ, ライディングシミュレータを独自に開発し, 例えば, 香川県で多い, 交差点での出会い頭衝突事故を防止するシステムの開発を, 自動車メーカーや二輪メーカーとの共同研究の一環として実施しています。



かがわ型マイクロEV

3. マイクロEVの設計と「かがわ流モビリティ」の開発

香川県の特殊車両を設計する企業と連携して, マイクロEVの設計開発を行っています。また, この車両には, 香川県での特徴的な交通事故である, 交差点での出会い頭衝突事故の防止を支援するシステムを搭載しています。



四国新聞掲載記事

4. 香りを用いた認知症のスクリーニングに関する研究

香りを用いて認知症を早期に発見する技術の開発を行っています。また, 認知症の介護現場での脳機能活動の活性化を目的とした音楽療法(パーソナルソング)の効果分析を実施しています。

高校生の皆さんへ

最近, 注目されている自動運転システムや, 事故回避支援システムの設計を, バーチャルリアリティーを駆使した, 独自に開発したドライビングシミュレータ, ライディングシミュレータを用いて行っています。また, これらを, 香川県の道路交通環境の特性に合致した, マイクロEVに搭載し, 実用性の評価を実施しています。このほか, 香川県で増加の傾向にある, 軽度認知障害や認知症の疑いのある方を早期に発見するための, 香りを用いたスクリーニング手法を, 高齢者施設と共同で実施しています。ぜひ香川大学工学部知能機械システム工学科で, 一緒に香川県でニーズの高い, 自動車交通システム, 高齢者の介護支援技術について研究しましょう。

連絡先: ksuzuki <@> eng.kagawa-u.ac.jp [<@> は @ に変更してください]